

寺小だより

令和5年度 春休み号 NO.15
富田林市立寺池台小学校
校長 阪上 佐智子
☎ 0721-29-1477

みらい わたしの未来

3月15日に卒業式が行われ、103名の6年生が卒業しました。誇らしげな笑顔で卒業
証書を受け取り、寺池台小学校を巣立っていきました。最後の週には、お世話になった
見守り隊の方や教職員へ、感謝の言葉を伝えていました。

私の式辞を一部紹介します。(前略)一月一日以降、能登半島では、今まで当たり前
だった日常が失われています。自分の力では、作ることも修理することもできなくて困って
いることが、生活の中でたくさんあると想像されます。私たちが、当たり前のように毎日の
生活で使っているものは、身の回りにどのくらいあるでしょう。数えきれないそれらのものは、
一つ一つ、それを作った人、販売した人、運んだ人等、実に多くの人々が働いたお陰で、み
なさんの手元にあります。そして、おうちの人を始めとして、大勢の人々に支えられることで、
日常生活は成り立っているのです。

最後の参観で、みなさんの将来の夢を聞きました。いろいろな夢がありましたね。まだ、
将来のことを考えている途中の人もいました。先ほどの詩のように、みなさんも、いつかは
大人になります。その時に、今度は、みなさんが誰かの当たり前の日常を支える人になって
欲しい、誰かの日常を笑顔にする人になって欲しいと願っています。(後略)

子どもたちは、それぞれ自分の将来を思い描いています。これからの社会を支えていくの
は、間違いなく今の子どもたちです。誰もが生き生きと活躍し、笑顔でありますように……。

本日、今年度の修了式を行いました。学校に関わってくださったすべてのの方々に、お礼
申し上げます。ご協力ご支援をありがとうございました。新年度もよろしくお願ひ致します。

◎四角の中は、子どもたちも読みましょう。



今度 登校するときには、それぞれ、一つ大きな学年になります。進級といひます。

できることが増えた分、人にやさしくすることも たくさんできると思ひます。